



青木小学校だより

青木小HP <http://www.aoki-aoki-ele.ed.jp/>

発行：青木村立青木小学校

発行日：令和8年2月27日

No.215文責米山

ウィンタースポーツを楽しんでいます

2月12日（木）1・2年生はそり教室、3～5年生はスキー教室が、菅平高原奥ダボススキー場にて行われました。当日は晴天に恵まれ、-3℃と気温は低かったですが、おひさまを浴びながらそりとスキーを十分に楽しむことができました。

1・2年 そり教室

晴天の空の下、1・2年生の子どもたちは元気に坂を登っては、そりで爽快に滑り降りるという事をくり返しながらか「そりすべり」という昔ながらの遊びを存分に楽しみました。最初は一人で滑っていましたが、しだいに友達と二人で滑り、中には三人乗りで楽しむ姿もありました。スキー場のロングコースを思いっきり堪能し、汗びっしょりになって楽しみました。インフルエンザや風邪が流行っている時期でしたが、1・2年生両方とも欠席が一人もおらず全員参加で、いい思い出ができました。



3～5年生 スキー教室

3年生は、初めての子どもも多く、講習の一番初めは、滑る板に苦戦し、思うように登ったり、下ったりする事ができませんでした。しかし徐々に慣れていき、午後にはリフトで登ってスイスイ滑って下りてくる姿が見られました。4・5年生は昨年の経験が生きている子どもも多く、久しぶりの子どもも、あっという間に慣れて、みんなで列になって楽しく滑る姿がたくさん見られました。講師の先生とも仲良くなってスキーを大好きーになれた楽しい一日でした。



6年生 学校かくれんぼ・鬼ごっこ(2/12)

1～5年生が菅平高原へ出かけた2月12日、6年生だけが学校に残りました。6年生の有志が自分たちも楽しいことをして思い出を作りたいと、担任の先生や校長先生にやりたいことをプレゼンにまとめました。学校中を使った「かくれんぼ」と「鬼ごっこ」をやりたいと考え、やったときのメリットとデメリットや危険なことを挙げ、そのデメリットや危険をどう防ぐかというアイデアも伝える素晴らしいプレゼンだったそうです。プレゼンの甲斐もあって、6年生は学校中を使った「かくれんぼ」と「鬼ごっこ」を実現しました。当日は、ゲーム



マスターになった児童が放送で情報を流すなどして、テレビ番組さながらの楽しい企画となりました。自分たちがやりたいことを実現するために、プレゼンして相手が納得するように交渉する姿が何とも頼もしいです。また、当日の給食には、学校に残っているお世話になった先生方と交流する計画も立て、「一緒に食べませんか?」とお誘いするメッセージカードを作成して配る姿もありました。先生方と給食を食べながら楽しいひとときも過ごせました。素晴らしい企画をありがとう6年生。

非違行為防止研修

月に一度、放課後の時間を利用して、職員は非違行為防止研修を行っています。

8月には、駐在所の佐土さんに来校していただき、自動車の安全な乗り方について話を聞きました。車のピラーの細い幅でも死角を作り事故につながる例もあること等教えていただきました。

12月には、学校薬剤師の櫻井さんを講師に薬物乱用防止について教えていただきました。体を治すための薬でも用量や用法を守らなければ薬物乱用になること。薬物乱用の原因として、自己肯定感の低さや居場所の無さがあるという事も教えていただきました。子どもたちだけでなく、私たち職員も自己肯定感の低い状態や居場所がない状況は心隙を作りやすいと思います。一人一人の良さを認め合い自分が自分のままでいいと安心できる居場所のある、居心地の良い学校にしていきたいと再確認する機会となりました。

また、非違行為は、起こしてしまった本人だけでなく、家族、職場の同僚、そして何よりも子どもたちに大きな影響を与えてしまいます。そのようなことがないように、これからも職員一同研修を通して感じたこと、考えたことを実行に移して参ります。



【3月の予定】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 2日(月) 学期末5時間授業(～9日) | 16日(月) 3学期終業式 |
| 3日(火) 登校班確認の会 | 17日(火) 卒業証書授与式 |
| 5日(木) 児童会① | 18日(水)～4月5日(日) 春期休業 |
| 6日(金) 6年生を送る会 | 27日(金) 新5,6年生登校 |
| 学期末清掃(～13日) | |



◇いよいよ3月を迎えます。先日の参観日でも子どもたちの姿に成長を感じる事ができたと思います。おうちでも成長を感じる瞬間があるかと思います。たくさん認めて褒めていただくと子どもたちの自尊心を醸成することができます。子どもたちのやる気パワーが充電できるように、子どもたちが成長を自覚できる声かけを学校でも家でもしていきましょう。